

CASBEE-建築(新築)2014年版
【仮称】福岡別院

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.6
Q1 室内環境								3.7
1 音環境		3.8	0.20	-	-	-	-	3.8
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 遮音		5.0	0.40	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能	外部アルミサッシはT-2等級品を使用(特記仕様書)	5.0	1.00	-	-	-	-	
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	
1.3 吸音	床は主にカーペット・畳を使用している。(仕上げ表)	3.0	0.20	-	-	-	-	
2 温熱環境		3.5	0.47	-	-	-	-	3.5
2.1 室温制御		4.1	0.50	-	-	-	-	
1 室温		5.0	0.38	-	-	-	-	
2 外皮性能	LOW-Eペアガラス(カタログ・U値計算)	3.0	0.25	-	-	-	-	
3 ゾーン別制御性		4.0	0.38	-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	-	-	
3 光・視環境		-	-	-	-	-	-	-
3.1 昼光利用		-	-	-	-	-	-	
1 昼光率		-	-	-	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	-	-	
3 昼光利用設備		-	-	-	-	-	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-	-	
1 昼光制御		-	-	-	-	-	-	
3.3 照度		-	-	-	-	-	-	
3.4 照明制御		-	-	-	-	-	-	
4 空気環境		4.0	0.33	-	-	-	-	4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	-	-	
1 化学汚染物質	仕上げ表参照	5.0	1.00	-	-	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	-	-	
4.2 換気		2.5	0.30	-	-	-	-	
1 換気量		4.0	0.50	-	-	-	-	
2 自然換気性能		-	-	-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	-	-	-	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	-	-	
2 喫煙の制御	ビル全体が禁煙である。	5.0	0.50	-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	-	-	3.8
1 機能性		4.5	0.40	-	-	-	-	4.5
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	-	-	
3 バリアフリー計画	用途上不特定多数ではないので評価しない	-	-	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.50	-	-	-	-	
1 広さ感・景観		-	-	-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	-	-	
3 内装計画	和風のコンセプト・宗教施設らしい内装・間接照明の導入・バース作成	5.0	1.00	-	-	-	-	
1.3 維持管理		4.0	0.50	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	ごみ置き場の塗床・EP塗装壁・風除室距離2.4m・外壁石の撥水剤・水切り設置・屋上鉄骨のメッキ(仕上げ表)	4.0	0.50	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保	洗濯機置き場に清掃具設置・洗い場設置・ごみ庫水勾配・PS内バルブ、トラップ取外し	4.0	0.50	-	-	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.3	0.30	-	-	-	-	3.3
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	-	-	
1 耐震性	建基法に適合	3.0	0.80	-	-	-	-	
2 免震・制振性能	免震・制振なし	3.0	0.20	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	打込み石仕上げ、花崗岩本磨き (マニュアル補助資料)	5.0	0.20	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	(マニュアル補助資料)	4.0	0.10	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	-	-	

2.4 信頼性	1 空調・換気設備	取組3つ	4.2	0.20	-	-	-
	2 給排水・衛生設備	取組4つ	5.0	0.20	-	-	-
	3 電気設備	取組3つ	4.0	0.20	-	-	-
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
	5 通信・情報設備	取組3つ	4.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.3	0.30	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	-	4.0	0.30	-	-	-
	2 空間の形状・自由さ	別紙計算 比率0.27	4.0	1.00	-	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	-
3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性	中央式空調設備なし		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性	梁貫通や埋躯体埋め込み配管はない。		4.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			別紙計算書	3.0	0.30	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			幹線道路側を高層とし裏通り側を低層としスケール感を合わせ、道路側には植栽をする	3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.5	0.30	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			植込みに福岡県産石材を使用、ピロティー・カメラの設置、利用者の参	4.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			別紙計算書	3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制				1.0	0.20	-	1.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEIm 非住宅 0.90 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)				4.0	1.00	-	-
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-
4 効率的運用				3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-
4.1 モニタリング			取組なし	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			責任者があり、管理運用は組織的に行われる。	3.0	1.00	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-
4.2 運用管理体制				-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	4.1
1 水資源保護				4.2	0.20	-	4.2
1.1 節水				4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				4.4	0.60	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			節水計画書を市へ提出	5.0	0.70	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				4.1	0.60	-	4.1
2.1 材料使用量の削減			鉄骨基準強度F325以上355未満	3.0	0.10	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			基礎躯体に高炉セメントを使用	5.0	0.20	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			吸音材量(ロックウール吸音板 フリーアクセスフロア パーチクルポー	5.0	0.20	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			LGS下地を使用し構造体に直接仕上げることはしない。	5.0	0.20	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.0	0.20	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			ビニル床・シートの接着剤・防水プライマー・躯体さび止め・塗床材(特記仕様	5.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.6	0.70	-	-
1 消火剤				4.0	0.33	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			仕上げ表に仕様記載	4.0	0.33	-	-
3 冷媒				3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮				3.3	0.33	-	3.3
2 地域環境への配慮				2.6	0.33	-	2.6
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			アメダスデータ取得、屋根面対策面積別紙計算	2.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.6	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減				-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-
3 交通負荷抑制			駐車スペースに関し台数、入り口位置、荷解きスペースの確保(平面	4.0	0.33	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			ごみ置き場の分別確保、ごみの減量推進等(1階平面図)	4.0	0.33	-	-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-
1 騒音				3.0	1.00	-	-
2 振動				-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-
1 風害の抑制			風害対策に対する要請がない	3.0	0.70	-	-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-
3 日照阻害の抑制			日影規制がない	3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			黄蓋ガイドライン一部該当 広告なし	3.0	0.70	-	-
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-